

19 銀杏募金（第三中学校）

活動



受賞者：狛江第三中学校
 推薦者：坪西 由美子 さん

【推薦コメント】

狛江第三中学校の門から校舎へと続くイチョウ並木（メモリーロードと呼ばれています）。秋になると葉が黄色に染まり、それは美しい光景です。やがて地面に落ちた銀杏の実を生徒たちが拾って丁寧に洗い、乾燥させます。袋詰めした銀杏の実を行事の際に訪れた保護者たちが買っていきます。その収益は地震などの被災地やユニセフへ毎年寄付されてきました。

【講評】

狛江第三中学校正門前にはイチョウ並木があり、秋には多くの銀杏が取れます。同中学校生徒会では、この銀杏を拾い、皮むきしたものを販売し、売上金を災害の被災者や福祉などに役立ててもらおう活動を続けています。その実績を紐解くと、三宅島噴火、雲仙普賢岳、阪神・淡路大震災や中越地震等、日本を震撼させた自然災害の歴史とも重なります。この活動には生徒だけでなく保護者も参加することで、学校と家庭の連携にも寄与しています。イチョウ並木が景観として市民に潤いを与えているだけでなく、こうした活動が人と環境とのかかわりについての体験的学習の場ともなり、ボランティア精神の育成にも寄与していることも含め、高く評価できるものです。